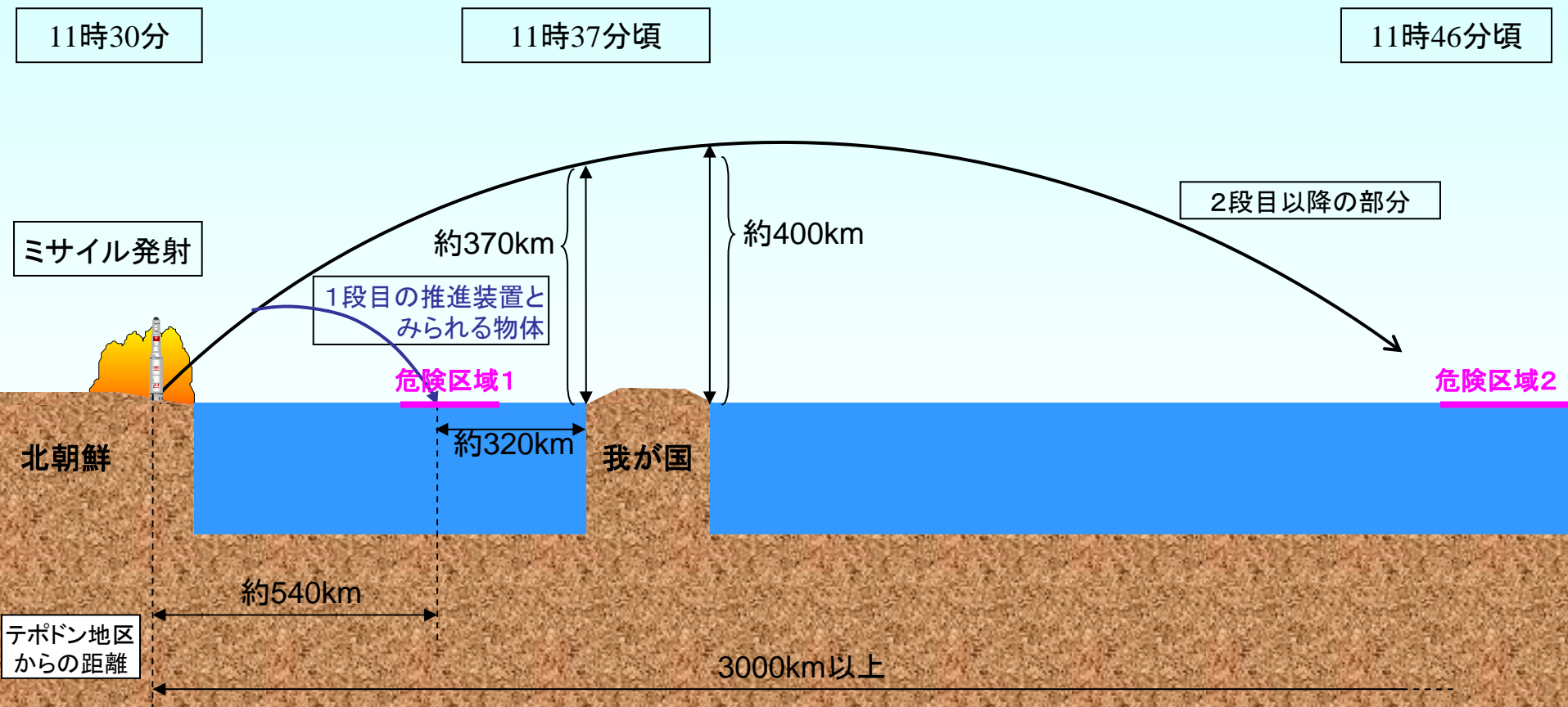
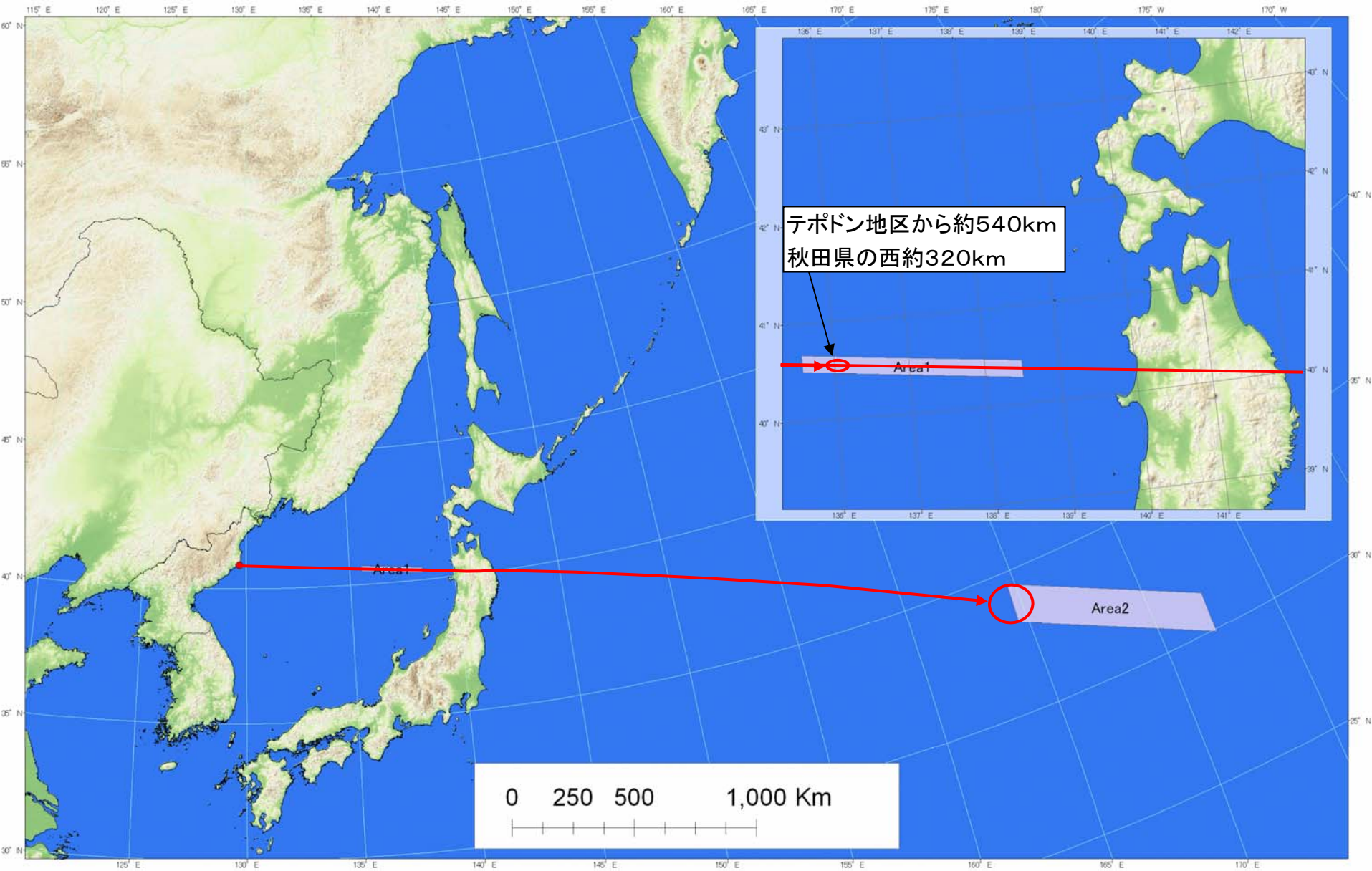


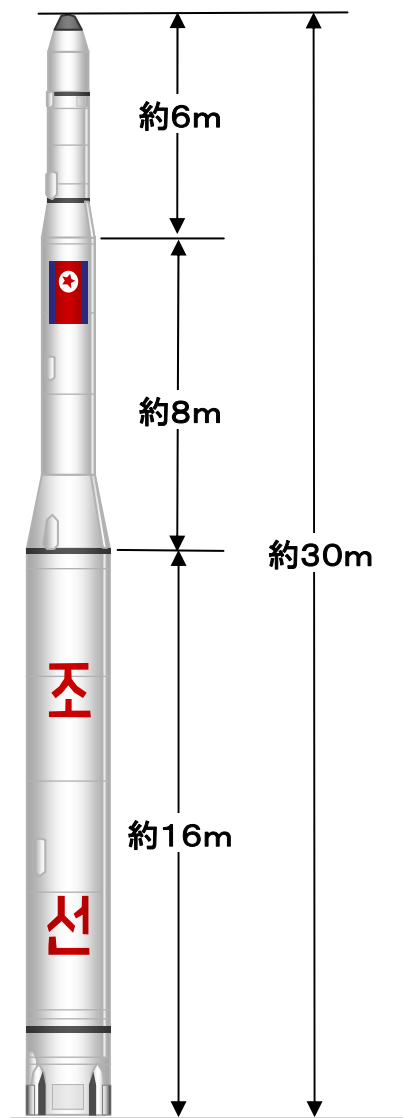
北朝鮮が発射したミサイルの飛行状況(イメージ)



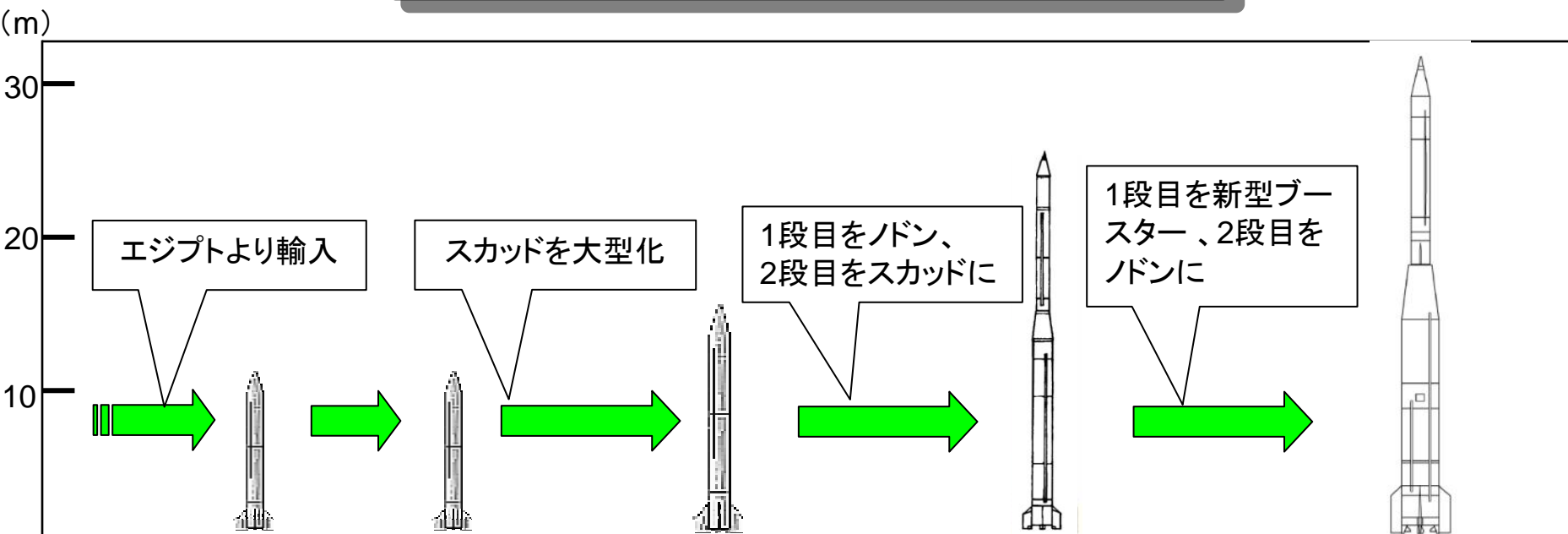
北朝鮮が発射したミサイルの飛翔経路(イメージ)



北朝鮮が発射したミサイル(3段式の場合)(イメージ)



北朝鮮の保有する弾道ミサイル

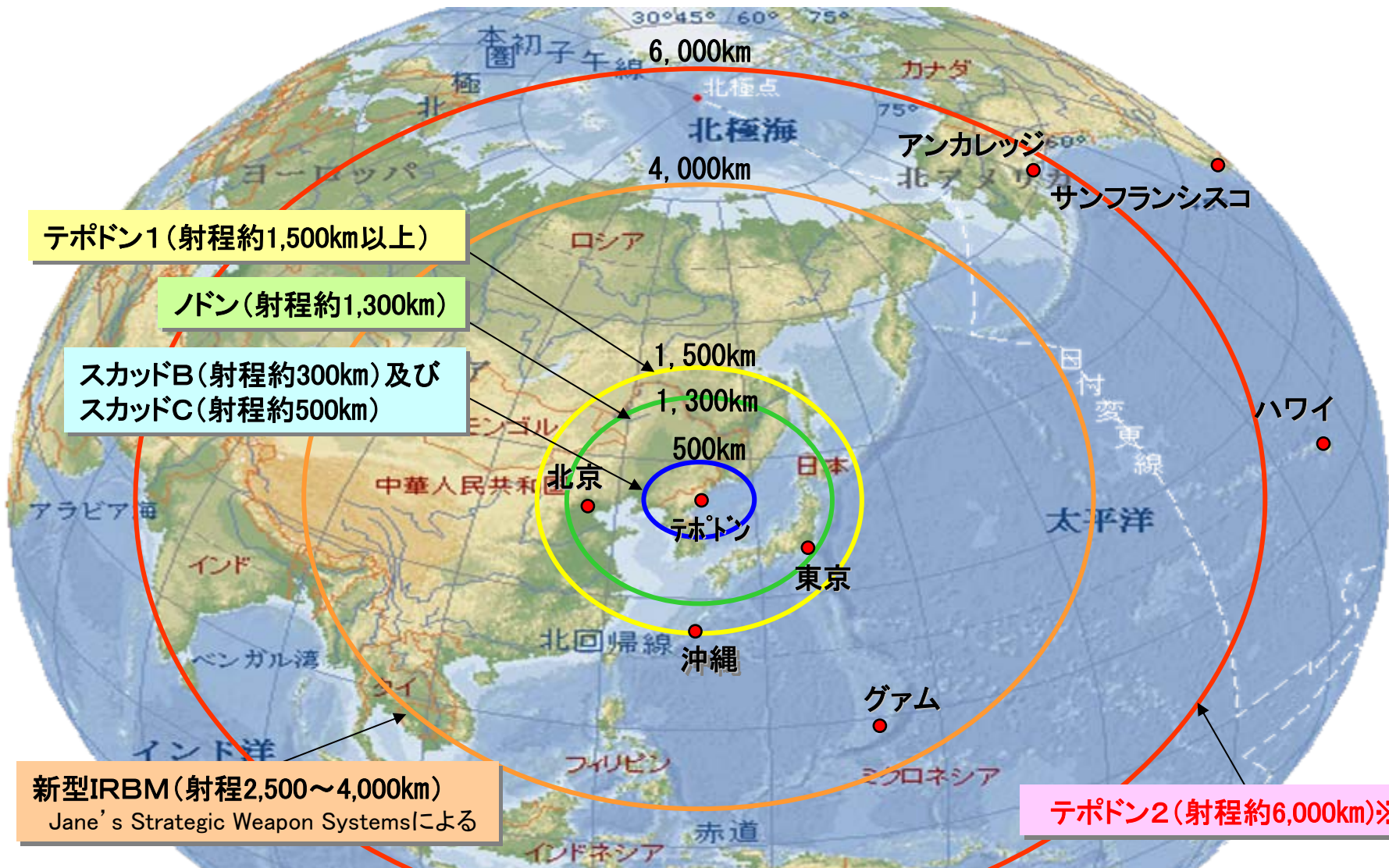


種類	スカッドB	スカッドC	ノドン	テポドン1	テポドン2
射程	約300km	約500km	約1,300km	約1,500km以上	約6,000km
	<ul style="list-style-type: none"> ・81年、エジプトよりスカッドB及びTEL (Transporter-Erector-Launcher)を輸入 ・スカッドCは、スカッドBの寸法を変えることなく、内部の推進剤タンクを大型化 		<ul style="list-style-type: none"> ・スカッドCのエアフレーム及びエンジンを大型化 ・93年の日本海に向けての発射実験で使用された可能性が高い ・06年にキテリョンから発射 	<ul style="list-style-type: none"> ・1段目にノドン、2段目にスカッドを使用 ・98年、日本上空を飛び越える形でテポドン1を基礎とした弾道ミサイルを発射 	<ul style="list-style-type: none"> ・1段目に新型ブースター、2段目にノドンを使用。 ・06年、テポドン地区より発射し、失敗

出典：Jane's Strategic Weapon Systems等

これらの弾道ミサイルに加え、北朝鮮は新たに、中距離弾道ミサイルや固体燃料推進方式の短距離弾道ミサイルの開発を行っていると考えられる。

北朝鮮の保有する弾道ミサイルの射程



※ 上記図は、便宜上大浦洞(テポドン)を中心に各ミサイルの到達可能距離を概略のイメージとして示したものの。

※ 米NIC公表資料(01年)は、2段式では10,000km、3段式では15,000kmの可能性があるとしている。